

## 令和4年度新規就農者育成事業研修成果報告書

研修生氏名： 大竹 慈仁

## 1 研修動機

元々農業分野に関心があり、農学部で学んだのち農業機械メーカーに就職したが、結婚・転居を期に他業種に転職をしていた。しかし働いているうちに農業にもう一度携わりたい、またこれまで製造業で学んだ考え方を農業に活かしたいとの思いから、就農を決意するに至った。

須賀川市は夏秋きゅうりの生産地としてブランド化されていることや、大型選果施設があること、また収入を得ながら生産者の方から直接指導受けることができる点に魅力を感じ、須賀川市農業公社の農業担い手育成事業に応募した。

## 2 研修生となって

## (1) きゅうり栽培農家実務研修

4月中旬～10月末および翌年2月初旬～3月末まで、施設栽培(促成・抑制)と施設露地(防虫ネット)栽培を行っている農家様での研修を行った。

促成栽培は4月中旬に伺った際はすでに樹が出来上がった状態から収穫・管理作業を行った。初めは規格より小さい果実を収穫してしまいがちだったが、塩ビパイプできゅうりと長さ・太さを比べることができる基準を作っていただき、それを使うことで目視や手で触った感覚で判断することができるようになった。また2月から3月にかけては育苗、定植から収穫までを経験し、この時期の温度管理の重要性を学んだ。

露地栽培は消毒剤散布や暗渠パイプの敷設から収穫終了まで一貫して携わることができ、良い経験になった。会社勤めをしていたときはほとんど運動をしていなかったため体力が落ちており、圃場の準備をする際にはかなり疲労してしまった。研修を続けるうちに次第に動けるようにはなってきたが、農閑期にある程度運動をして体力の増強・維持を行う必要性を感じた。主枝の摘芯前に高温によって成長点にヤケが発生してしまったり、栽培終盤に炭疽病が発生したことにより樹はまだ元気なのに栽培を終えざるをえなかったりときゅうり栽培の難しさを目の当たりにした作型でもあった。

抑制栽培は7月末の暑い時期に定植を行うため栽培初期は生長速度が著しく、誘引や側枝摘芯といった管理に追われての作業となった。生育速度が速い分、茎葉が柔らかいため作業中に傷つけやすく、他の作型より気を付けて作業を行う必要を感じた。

## (2) 農業関係機関研修

須賀川農業普及所主催のきゅうり基礎力アップ研修会では一般的な書籍では見えにくい実際的な作業の仕方や病害虫・生理障害への対処方法などを学ぶことができ、勉強になった。また篤農家の方々の圃場に伺ってお話を聞くことができる貴重な機会でもあるため、来年度以降も積極的に参加していきたい。

農業短期大学校での研修では、農業従事者や新規就農希望者と交流をも強い機会となった。また各研修で農作業における死傷者の傾向や原因等の説明を何度か聞く機会があり、より一層気を付けなければならないと意識を改めた。

## (3) 公社業務研修

農業公社では主に味噌のパック詰めや大豆の乾燥調製作業、梅林公園での剪定枝の片付けを行った。同じ動作を繰り返すことが多く、柔軟性のない私はどこかしらに負担が集中したり、体を痛めたりといったことが多かった。今後数十年にわたって農作業を行い続けるためにはそれに耐えうる体にしていかなければいけないと改めて感じたため、ストレッチ等を日常的に取り入れるよう心掛けたい。

## 3 研修を終えて(※研修期間全体を振り返って)

研修以前に自分一人で考えていた計画では捉えられていなかった就農までの道筋を研修先の農家様や関係機関各位とかわる中で明確化し、それに対して準備を行うことができた点はできた。またこれらの繋がりは就農後も大いに役立つ得難いものであり、本研修を受けて一番良かったと感じる点である。

また栽培についてはこれまで書籍類で学んだことや家庭菜園程度の知識・技術しかなく、教えていただきながら実際の作業を行うことができる環境はありがたかった。ただ年に数度しか行う機会のない作業や感覚や経験がものを言う作業については習熟度が低く、まだ不安を覚えるため、就農後も必要に応じて教を請いながら引き続き研鑽していきたい。

#### 4 就農展望

就農初年度は露地栽培，次年度以降はそれに加えて施設栽培を行う予定である。当面の課題としては実作業を行いながら研修で身につけきれなかった事柄を洗い出してそれらを補完することによる栽培技術の確立することが必要と考えている。また労働時間に関しても農繁期にはかなり長くなる見通しのため，作業内容や時間の記録・分析して時間のかかる作業の省力・効率化を図っていきたい。

就農後の目標としては各種作業時間等のデータを基に作業効率・経営改善を進めることで中期的には 5 年以内の黒字転化、長期的には規模拡大・経営の安定化による雇用の創出と次代への事業継承を設定している。